

第3期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略素案に係る意見募集結果について

番号	ご意見	県の考え方
1	<p>子供への支援に関しては凄く有難い事も本当に助けられています。ですが、ひとり親であっても制限があり給付を貰えなかったりすることもあります。どのご家庭も厳しい中で、けては裕福には生活してないと思います。非課税世帯、だけでなく母子世帯、父子世帯への支援・給付等がもっと充実すると共に未来ある子どもたちへの助けがもっともあって良いのではないかと思います。</p> <p>私は産めるのであればたくさん子どもに囲まれて生活したいです。</p> <p>でも現状生活が厳しく、毎日過ごすのがやつとでなかなかそのような余裕を持つことができません。パートナと協力すれば良いじゃないか、と思われるかもしれませんが、両親いても子育て世帯の厳しさはどこも変わりません。今でも私にとっては十分な支援を頂いていますが、できるのであればこれから子育てをする方々のためにも支援、援助がもう少し必要であると考えます。</p>	<p>児童扶養手当や母子父子寡婦福祉資金貸付のほか、ひとり親家庭医療費の助成など経済的支援に加え、就労、相談対応など幅広く支援していますが、全国一律の施策である児童扶養手当の更なる増額及び所得制限限度額の引き上げについて、全国知事会を通じて国に要望しています。</p> <p>また、こども医療費助成などの経済的負担の軽減に引き続き取り組むとともに、県ポータルサイト「子育てのタネ」等を通じて、様々な年代の方に子育ての最新情報や現在の育児法等を発信し、地域社会全体で子育てを応援する体制を構築していきます。</p>
2	<p>近くに頼れる親族がいないため、0歳児の子供を旦那と2人で育てています。旦那は家事・育児に協力的ではあるものの、仕事していない時間も多く、負担が大きいです。子供3人が希望ですが、今後のことを考えると2子目、3子目にこの足を踏んでしまうところがあります。希望する子どもを持つために、家族に頼らずに子育てできる環境がもっと充実することを願います。具体的には、一時預かりの一部無償化や産後四カ月までに限られる産後ケアの制限の緩和、子育てする親世代のワークライフバランスの改善などがより進むことを期待します。</p>	<p>産後ケア事業については、宿泊型やデイサービス型に加え、今年度から訪問型を開始したほか、8市町村の宿泊型・デイサービス型と、11市町村の訪問型サービスでは、対象月齢が1歳未満まで拡大されたところです。</p> <p>また、令和8年度から全市町村で実施される予定の「保育所等に通っていない6か月から3歳未満のこどもも利用できる「こども誰でも通園制度」の導入促進にも取り組んでいきます。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの推進に向けては、長時間労働の是正や効率的な働き方等に取り組み企業を、おおい子育て応援団「しごと子育てサポート企業」に認定しています。</p> <p>引き続き、市町村とともに、子育てしやすい社会づくりを推進していきます。</p>
3	<p>育児について</p> <p>私は今1歳の子どもを育てています。地元は杵築市、別府市で出産して、大分市で子育てをしています。別府や大分市で良いなあと思ったこと（他の市町村はこんなに整備されているのだろうかとも思っていること）を述べます。</p> <p>今子どもがやつと歩けるようになってきて、近所に公園があることのがたさを感じています。芝生があつて、少しピクニックでもしたくなる雰囲気なこと、近くにスーパーやコンビニがあつて人通りがあること、手が汚れる鉄道の遊具ではないこと、広い公園or大型遊具と小さい子向けの遊具があつて家族みんなであそべること、ごまめに草を刈ったり落ち葉を集めたり木の枝を剪定してくれていること。素敵と思う理由はたくさんありますが、これが市に2つとかではなく、もっとたくさんあつたら良いのになあと思っています。そうすれば、母子と一緒の外に出て、リフレッシュできるのになあと思います。</p>	<p>「こどもが元気に遊べる遊具の導入や交流できる広場の整備、民間との連携による利便性の向上など、魅力ある公園づくりの推進」など、市町村とい連携して、こどもや子育て世帯が安心・快適に利用できる公園づくりを進めます。</p>
4	<p>子育て、教育について、日頃感じていることをお伝えさせていただきます。</p> <p>放課後児童クラブについて</p> <p>少なくとも私の職場である別府市では、放課後児童クラブの定員が足りていません。おそらく、同じ状況の市町村が多いと思うので、増やして欲しいです。知人は1年間も待って、2年生からようやく入れていました。保育園から小学校への接続が難しく、「小1の壁」と言われるのはこれが原因のひとつだと思います。また、一年生優先なので、学年が上がるとさらに受け入れが難しくなることも、子育ての不安として大きいです。</p> <p>子ども救急電話相談について</p> <p>子どもの急な体調不良で利用し、適切なアドバイスをいただき、とても助かりました。救急車を呼ぶほどのかわからない、小児科は電話が繋がらない、湿疹が気になるが小児科へ行くのが風邪うつそれうでできれば通院したくないがホームケアで十分なのか心配。そんな不安を解消してくれました。ありがとうございました。</p> <p>妊娠、出産への支援について</p> <p>妊婦検診、出産費用がかなり抑えられました。夫も育休が取れたことで、子育てのいいスタートが切れました。産休、育休間に給付金がもらえることも、子どもの医療費も援助があることにも助かっています。ありがとうございました。ですが、育休中で、今まで給与引きだった昨年度分の町民税が一気に18万円も押し寄せ、家計を圧迫しています。育休中でも、これは免除していただけないのが苦しいです。また、産後の仕事復帰には保育園がつかせません。「無償」「待機児童ゼロ」は言葉の定義のからくりで、実際は保育料が高いこと、保育園に入りづらいことはおかしいと思います。子どもを育てながら、働きながら、妊娠をするということは、今の仕事をしながらでは難しいです。一年を経過し、給付金がもらえない中、貯金を切り崩しながら第二子出産というの苦しいです。育休中の給付金を1年間でではなく3年間に延長していただけたら、第二子を考えてやすくなると思います。どうかご検討ください。</p> <p>こどもまんなかまちづくり（三世代同居、近居）について</p> <p>子、親、祖父母の関係の中で、祖父母への孫育ての教育が必要であると思います。祖父母と親の育児観が違ってきて、「手伝って欲しい」と思えないので、補助金は私には効果がありません。他県では「母子手帳」ならぬ「じじばば手帳」の配布がされています。昭和の子育てと令和の子育てではすべきこととしてはいけないことが真逆です。その説明を母親がしてモブライドが邪魔をして実母も義母もなかなか聞き入れてくれないのです。大分県もぜひ祖父母への教育を始めてほしいです。大分県では父親向けパンフレットの配布があり、とてもありがたかったです。</p> <p>いじめについて</p> <p>学校だけに任せている間は解決しないように思います。小学校であっても、警察との連携ももっと身近な選択肢に入れるべきだと思います。</p> <p>優秀な教職員の人材確保について</p> <p>他県では採用試験の前期、中期、後期日程を始めています。大分県の試験の時期を考えなおす必要があると思います。また、昨今の報道により教員の働き方に魅力がないとされていることへの根本的な解決が必要だと思います。その意味では、学校への時間外の電話に留守番電話サービスを利用、運動会の時間短縮、家庭訪問を廃止して二者面談にかえる、公簿の電子化、集金の手渡しを廃止して引き落としに変える、などの取組は効果があったと思います。ありがとうございました。今後、業務の削減を県や市町村から呼びかけていただきたいです。現場レベルでは削減反対の根性論、感情論があり、話が進みません。全県的な取組を切に願います。</p>	<p>【放課後児童クラブについて】</p> <p>放課後児童クラブの利用児童数は年々増加し、県内クラブでも受け皿整備を進めているものの、利用を希望する児童に対し支援員の確保ができず、一部クラブにおいて受入ができなかった事例があります。今後とも施設整備による受け皿確保とともに、認定研修による支援員の養成に加え、令和7年度は新たに「県内大学と連携した大学生への出前講座」等により人材確保に取り組み、待機児童の解消に努めます。</p> <p>【子ども救急電話相談について】</p> <p>だれもが安心して子育てできるよう、「大分県こども救急電話相談（#8000）」の利用促進に向け、引き続き周知に努めます。</p> <p>【妊娠、出産への支援について】</p> <p>4年連続で待機児童ゼロを達成していますが、特定の施設を希望して入所しなかった未入所児童も一定数あることから、市町村の計画に応じた施設整備に加え、保育士の確保に向け、就職フェアの拡充や、県外学生の県内就職に向けた実習に要する交通費等の助成、ICT機器の導入など保育現場の働き方改革を進め、保育の受け皿拡大に努めていきます。</p> <p>加えて、市町村と協力して、第2子以降の3歳未満児の保育料を全額免除し、第2子以降の出産を後押ししています。</p> <p>また国が所管する育児休業給付金については、令和7年4月から「出生後休業支援給付金や育児短時間就業給付金」を新設するなど、共働きでも安心して子育てできるよう制度の拡充を図ることとしています。</p> <p>【こどもまんなかまちづくりについて】</p> <p>保護者はもちろん、地域の様々な関係者が関わることでこどもの豊かな成長につながることから、県ポータルサイト「子育てのタネ」等を通じて、様々な年代の方に子育ての最新情報や現在の育児法等を発信し、地域社会全体で子育てを応援する体制を構築していきます。</p> <p>【優秀な教職員の人材確保について】</p> <p>優秀な教員の確保に向けては、他県の取組も参考にしながら、採用試験等の見直しを行っており、今年度は6月から始まる通常試験に加えて秋選考試験を実施しております。また、来年度からは、1次試験受験資格の大学3年生への拡大や、東京・福岡に県外試験会場を新設するなど、より受験しやすい環境整備を進めることが出来るよう予算要求を行っているところです。</p> <p>加えて、教職の魅力向上を図るため働き方改革を加速させるとともに、魅力発信の取組も強化してまいります。</p>
5	<p>出会いの場を増やすために恋愛番組の「今日好きになりました」のような見知らぬ男女が集まり旅をしながら恋をするイベントを県が主催して開催する。対象者を若い未婚者にすることで若者の出会いの場を増やし、結婚のきっかけを作る。</p>	<p>結婚を希望する方の出会いを支援するため、県設置のO I T A えむす部出会いサポートセンターにおけるお見合いサポートや婚活イベントの開催等、幅広く出会いの場を提供しています。</p> <p>今後は、地域ごとに工夫を凝らした婚活イベントが県内各地で開催できるよう取り組んでいきます。</p>
6	<p>工場が欲しい。若い人が働ける場所を増やして欲しい。</p> <p>お年寄りが喜ぶ無料のイベントがして欲しい。例えば歌手呼ぶとか、芸をみるとか等々</p>	<p>引き続き、地域の新たな雇用と活力を創造するため、企業誘致を最も重要な施策の一つとして取り組んでいきます。</p> <p>県では、全ての高齢者が参加可能で、文化・芸術部門とスポーツ等交流部門からなる県内最大規模のイベント「豊の国ねんりんピック」を毎年開催しています。</p> <p>加えて、「ふるさとの人」派遣事業では、希望する地域・団体へ芸を持った高齢者を派遣する経費の助成を行っており、楽器演奏や手品などの特技を持った高齢者を地域の老人会等に派遣することが可能です。</p> <p>今後も高齢者の方に喜んでいただけるよう、こうした高齢者の生きがいづくり事業の取組を推進していきます。</p>

第3期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略素案に係る意見募集結果について

番号	ご意見	県の考え方
7	若者が働きやすい環境にするため、推進だけでなく、実験をしながら進めていくのも良いと思う。	多様な人材が働きやすい職場環境づくりを進めるため、働き方改革に関する意識啓発や、若者に選ばれる企業になるための人材採用セミナー等の開催のほか、職場環境整備等に取り組む企業を対象としたアドバイザーによる個別相談会や、女性と企業のマッチング、職場体験等を実施しています。 ご意見を踏まえ、今後も引き続き、誰もが働きやすい環境づくりを様々な手法で進めています。
8	災害に強い県土づくりと危機管理の強化 地震や津波があったとき、リアルタイムで自分がいるところのどの程度の被害が出るかや最も現地に近い避難場所などを通知で教えてくれるアプリがあるといいと思います。災害があったときに備えて地域ぐるみの避難訓練の実施、一家に一つ防災無線の配布などいいと思います。またインターネットが使えず家族や友人と連絡が取れず不安になる人がいると思うので、ポケットWi-Fiやモバイルバッテリーの貸し出しなどがあれば良いと思います。災害で住んでいた家が倒壊・全焼してしまった人たちにすぐ仮設住宅を用意できる手段がもしあれば助かると思います。事前に仮設住宅を災害の被害が少ないと予想される場所に建てられれば早く仮設住宅に入れますが事前に建てた仮設住宅が災害に巻き込まれてしまった時は資材が無駄になってしまいます。このようなリスクがあっても事前に用意する事自体は可能か教えてください。	県では、スマートフォン用の情報提供ツールとしておおい防災アプリを運用しています。主な機能として気象情報や避難情報のほか、災害リスクを知るための現在地周辺のハザードマップ、避難所開設状況の情報、さらに家族で位置情報を共有し避難状況の確認ができる家族グループ機能などを提供しています。また、災害に備えて地域における避難訓練やアドバイザーを派遣した学習会開催の支援などに取り組むとともに、地域における通信手段確保に対する支援も行っています。 また、災害用の仮設住宅については、発災後に建設することなどが建築基準法で定められていることから、発災前に建設することは困難ですが、公営住宅や民間賃貸住宅の空き住戸をみなし仮設住宅として利用するなど、仮設住宅の早期供給に向けて関係者と連携を図ります。
9	バスの時刻表（特に大分交通）がラッシュ時でない時でさえも10分遅延などは当たり前、朝夕では20?30分遅延の日もよくあるため、そういった交通状況に合わせて、しっかり機能するダイヤ改正をしてほしいです。また、バスでこ大分も機能していないバスがあるため、改善してほしいです。	交通の状況は、時間帯や気候などによって変化するため、そのような状況に合わせたダイヤ編成は非常に困難と考えます。ラッシュ時には一部の道路でバス専用レーンを設けているため、運転する皆様にはご理解いただき、バスの定時運行にご協力いただきたいと思います。
10	交通の便が悪い上にタクシーが捕まらない時は一向に捕まらないのが困ってしまう。	タクシー乗務員は減少が続いており、タクシー不足の要因の一つとなっています。そこで、県では、令和6年度から、2種免許の取得や乗務員の採用活動に要する経費等を事業者に助成することで、タクシーを含む公共交通の維持・確保に努めています。
11	大朝駅を交通系カードに対応させて欲しい	引き続き、JR九州に対して、大分県内の全ての駅に対する交通系ICカードを含むキャッシュレス決済の導入について要望していきます。
12	バス代が高いからよく電車を使うが、別府大学駅と別府駅の間にもう一駅作ってほしい。距離感絶妙すぎて少し不便。バスは高いからなかなか使えないのやばい電車に乗りたい。	J Rの駅を新設するためには、市が取りまとめた住民等の要望をもとに、J R九州に働きかける必要があります。また、地元要望による新駅設置は、J R九州から用地の確保や建設費用を求められる等、地元の負担が大きいです。駅と連絡する道路の整備など付随する事業が生じることもあります。今のところ、別府～別府大学間の新駅設置について、地元の別府市からは具体的な要望は上がっていません。県としては、地域の皆様や観光客がより便利に公共交通機関を利用できるように、いただいたご意見を別府市や運行事業者へ伝え、その考えを踏まえて必要な検討を行っていきます。
13	別府市内のバスが高い。 海外を含め地元を離れ一人暮らしをしている学生が多いこの場所で、他の市に比べても今のバス代は高いと思う。 学生が地域に根付いてより活発に活動できるよう、バス代を値下げしてほしい。	利用者の減少やバス乗務員の不足、燃料価格の高騰など、バス事業者の経営環境は非常に厳しい状況にあります。そのような中、県内の各バス事業者は路線を維持し、地域の方々の足を確保するため、バスの位置情報等を検索できる「バスどこ大分」や運賃や時刻表がGoogleMapなどで検索できるサービスの導入など利用者の利便性を高める取組や、積極的な乗務員の採用活動などを行っています。 路線バスを維持するためにも、バスの運賃についてご理解いただきたいと思います。
14	亀の井バスで、別府駅から鉄輪方面に向かう便が夜の時間帯は1時間に一本を下回るバールでしか来ないのは時々不便に思う	利用者の減少やバス乗務員の不足、燃料価格の高騰など、バス事業者の経営環境は非常に厳しい状況にあります。そのような中、バス事業者は、乗務員をやりくりしながら効率的な輸送に努めているところでありますのでご理解ください。
15	うみたまご前の別大国道の上下線のバス停の待合室を広げてエアコン付きが冬季は特に風も強くてバスを待つのが寒そうにされているのを見かけます 観光地なのでインバウンドも考慮し、改善してあげると良いと思います	県としては、バス停上屋の改修や新設の際に活用できる補助金を、大分県バス協会に対して毎年交付しているところです。いただいたご意見を大分県バス協会やバス事業者に伝えます。
16	路線バスの料金が若干高い	利用者の減少やバス乗務員の不足、燃料価格の高騰など、バス事業者の経営環境は非常に厳しい状況にあります。そのような中、県内の各バス事業者は路線を維持し、地域の方々の足を確保するため、バスの位置情報等を検索できる「バスどこ大分」や運賃や時刻表がGoogleMapなどで検索できるサービスの導入など利用者の利便性を高める取組や、積極的な乗務員の採用活動などを行っています。 路線バスを維持するためにも、バスの運賃についてご理解いただきたいと思います。
17	もっと可愛いゆるキャラが欲しい 市内の道が混みすぎて出かけるのが億劫 車線を増やすか道広くして欲しい	大分県のマスコットキャラクター「めじろん」は、大分県の応援団「鳥」として令和6年12月に20周年を迎えました。まだまだやる気に満ちており、現時点で新たなキャラクターの作成は予定していませんので、引き続き応援のほどよろしくお願ひします。 「国道197号等の幹線道路の整備やビッグデータの活用などの活用による効果的な渋滞対策の実施」、「渋滞緩和や安全性向上を図る交差点改良の推進」など、地域の交通状況に応じた効果的な渋滞対策を進めています。また、鉄道・バス路線の維持や渋滞緩和のためにも、公共交通機関を利用していただくよう、県民の皆様へ呼びかけていきます。
18	電車の本数を増やしてほしい。 バスの本数増やしてほしい。 県南の方にも観光名所が欲しい。	利用者の減少や乗務員の不足、燃料価格の高騰など、交通事業者の経営環境は非常に厳しい状況にあります。そのような中、交通事業者は乗務員をやりくりしながら効率的な輸送に努めているところでありますので、ご理解ください。大分県南には、国宝白根石仏や豊後二見ヶ浦など、魅力的な観光資源が多数あります。今後は情報発信を強化し、これらの観光地を積極的にPRすることで、さらなる観光客の誘致を目指していきます。
19	交通の面で治安が悪いと思います。	県警では、道路交通秩序を維持し、交通事故を抑制するため、今後とも ・交通ルール遵守と交通マナー向上を図るための取組 ・飲酒運転等の悪質・危険な運転行為の根絶に向けた交通取締り等を推進してまいります。
20	新幹線が通っていないため帰省に時間がかかる	東九州新幹線等の早期実現に向けて、関係機関と連携しながら、県民・企業の機運醸成や国への働きかけ強化等に取り組んでいます。
21	私は、大分空港の小ささに驚きました。大分空港の施設を大きくすることで大分県の観光客増加や飛行機の増便は可能だと思います。滑走路は3,000mあるので、大型機の着陸も可能ですし、沢山の路線は増やせると思います。また、空港内のアミューズメント施設も隣接し空港利用以外でも利用者が増えるようになると思います。また、今年度末までにはホーパークラフトも就航するので、アクセスも改善されると思うので、ホーパークラフト利用者には何らかの特典をつけることで利用者も増えると思いますのでご検討よろしくお願ひします。	大分空港の利便性を向上するため、大分空港のターミナルビル管理事業者において、現在、ターミナルビルを330m拡張し、旅客搭乗橋を1基増設する拡張工事を実施しており、令和8年3月に完成する予定です。また、空港の利用者を増やすため、空港内でコンサート等のイベントを開催するとともに、ホーパークラフトの利用者を増やすため、動画の配信やスタンプラリー等を実施する予定です。

第3期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略素案に係る意見募集結果について

番号	ご意見	県の考え方
22	<p>ホーバークラフトの料金についてwebサイトでの早割や家族割や、学生割などの実施と、大分市内での海上空港への移動などの大分空港の交通利便の改善を考えて欲しいです。</p>	<p>ホーバークラフトについては、上下分離方式で導入を進めており、料金は運航事業者が決定することとしています。</p> <p>また、ホーバーターミナルの2次交通については、空港アクセスの就航から3か月間、大分駅との無料シャトルバスを運行する予定です。</p>
23	<p>にじさんじに所属するVTuberが、各地の名所案内をすると、話題になって観光客が多くなると思います。VTuberのライブを呼ぶことができれば、県外から多くのお客さんがきてホテルに泊まったり、食べ歩いたりしてくれると思います。</p>	<p>本県では、若年層をはじめとする新たな観光客の誘致に向け、SNSを活用した情報発信事業を展開しています。ご指摘いただいたVTuberライブの誘致による誘客も含め、今後も誘客に繋がる効果的な施策の検討を進めてまいります。</p>